

📌 ラベルは簡単にはがせます

株主の皆様へ

第152期

第2四半期事業のご報告

平成28年4月1日～平成28年9月30日

株主の皆様へ Top Message

世のため人のために
常に新しい価値を生み出し
続ける企業でありたいと
考えています。



株主の皆様におかれましては、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第152期第2四半期(2016年4月1日から2016年9月30日まで)における経営環境は、企業業績は底堅さを維持したものの、海外経済の減速や円高の進行、株価の不安定な動きなどを背景に、企業の景況感や個人消費は先行きが不透明な状況にあります。労働需給に関しても逼迫した状態が継続し、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、ヤマトグループは長期経営計画「DAN-TOTSU経営計画2019」および中期経営計画「DAN-TOTSU3か年計画STEP」の達

成に向けて、「バリュー・ネットワーキング」構想の推進と健全な企業風土の醸成を基本戦略とし、高品質で効率的な物流ネットワークの構築、グループ経営資源の融合による高付加価値モデルの創出に取り組みました。

業績面では、「宅急便コンパクト」や「ネコポス」のご利用窓口拡大や通販事業者様への拡販により、取扱数量・収益ともに好調に推移しました。また、グループ各社が連携して課題解決に当たるソリューション営業を積極的に推進した結果、営業収益、営業利益ともに、前年同期を上回りました。

2016年には、おかげさまで宅急便が40周年を迎えることができ、ヤマト

運輸は企業ブランド調査*で総合首位となりました。これもひとえに皆様からのご愛顧の賜物であると、深く感謝申し上げます。今後もヤマトグループは、常に新しい価値を生み続けることを大切にし、株主の皆様、お客様、社会、社員、全てのステークホルダーの満足度を高め、期待に応えていけるようグループ一丸となって努力してまいります。株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

*株式会社日経リサーチによる企業ブランド調査。

2016年12月

代表取締役社長 社長執行役員

山内 雅喜

第 2 四 半 期 の ポ イ ン ト

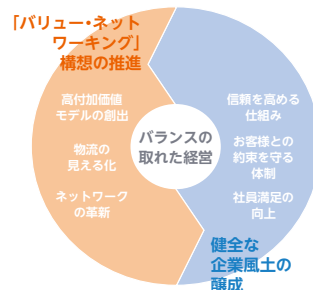
- 1 グループの経営資源を複合的に活用した新たな価値の創造
- 2 各地の行政との連携による、地域社会への貢献を推進
- 3 宅急便新サービスを活用した拡大する通販需要の取り込み

■決算ハイライト

	前第2四半期 (単位:億円)	当第2四半期 (単位:億円)	増 減 (単位:億円)	伸 率
営業収益	6,837	7,066	▲ 229	3.3%増
営業利益	180	209	▲ 29	16.4%増
経常利益	186	209	▲ 22	12.3%増
親会社株主に帰属する 四半期純利益	97	115	▲ 17	18.4%増

バランスの取れた経営の実現に向けて

ヤマトグループは、中期経営計画『DAN-TOTSU3か年計画STEP』の達成に向けて、「バリュー・ネットワーキング」構想の推進と健全な企業風土の醸成を基本戦略に、積極的な取り組みを進めてきました。当第2四半期における活動についてご紹介します。



「バリュー・ネットワーキング」構想の推進

中部ゲートウェイ竣工

スピード輸送ネットワークと付加価値機能を一体化させる「止めない物流」を実現します。

ヤマトグループは、スピード輸送ネットワークとIT(情報)・LT(物流)・FT(金融)機能を融合させる「バリュー・ネットワーキング」構想を加速しています。2016年9月には、日本のものづくり産業の中核であり、日本の地理的中心に位置する中部に、最新鋭のマテハン設備*を備えた総合物流拠点「中部ゲートウェイ」を竣工しました。「厚木ゲートウェイ」「羽田クロノゲート」「沖縄サザンゲート」と連携し、スピード輸送ネットワーク

と付加価値機能を一体化させる「止めない物流」を実現します。

「中部ゲートウェイ」は、新東名高速道路(伊勢湾岸自動車道)豊田南ICに近く、名古屋港や中部国際空港セントレアにも好アクセスで、多様な輸送ニーズに対応できる立地にあります。また、「厚木ゲートウェイ」「羽田クロノゲート」との多頻度幹線輸送により、関東・中部間での宅急便の当日配達が可能になります。さらに2017年秋竣工予定の「関西ゲートウェイ」までつなげることで、宅急便の当日配達エリアが拡大します。マージ(集約)、キッティング(機器設定)といった高付加価値機能と、スピード輸送ネットワークを一体化させ、物流を「価値を生み出す手段」に進化させていきます。

*マテハン設備とは、マテリアルハンドリング設備の略称。物流業務を効率化するために用いられる作業設備。

中部ゲートウェイの特長

1 立地を活かしたスピード輸送

地理的に優れた日本の中心に位置し、関東・関西の各主要都市へのスピード輸送が可能です。



2 物流に高い付加価値を提供!!



クロスマージ
国内外から調達・納品される製品・部品等を納品先ごとにまとめて出荷



アッセンブル
製品化に向けた機器・商材の組み立て



キッティング
製品化に向けた機器設定作業



ローカライズ
外国製品を日本仕様に適合させる作業

3 最新マテハン設備導入により、大量の荷物を低負荷で効率よく仕分け

クロスベルトソータ
従来の2倍の処理能力と底面スライド方法により、より荷物に負荷をかけない仕分けを実現

フラットソータ
クロネコDM便や宅急便小物(冊子形状)を自動で仕分け

スパイラルコンベア
上層階で加工した荷物を仕分けエリアに直結し時間を短縮、高品質化とスピードアップを実現

健全な企業風土の醸成

多摩ニュータウンの地域活性化に向けて、 くらしのサポートサービスの提供を 開始しました。

ヤマトグループは、健全な企業風土の醸成の一環として、CSV (Creating Shared Value=共有価値の創造) という概念に基づき、本業を通じて、より持続的な社会的価値を創造するための取組みを推進しています。これまで、お買い物サポートと見守りを組み合わせた「まごころ宅急便」や、過疎化や高齢化が進む中山間地域の路線バスで宅急便を輸送する「客貨混載」など、宅急便サービスの向上と持続可能な社会が相互につながる取組みを実施してきました。

近年、都市近郊部では、経年による生活者のライフステージの変化により、買い物や外出が困難になるといった問題が顕在化しています。そこで、2016年4月に、多摩ニュータウンにお住

ヤマトグループが提供するサービス

- 1 宅急便の受付、宅配ロッカーの設置、NPOや自治会との連携、市や地域の情報発信
- 2 自社の宅急便だけではなく他の宅配事業者の荷物も集約し一括してお届け
- 3 電話・Web・拠点で商品の注文を受け付け、購入品を店舗から集荷、仕分けし、ご自宅までお届け
- 4 地域の小売店からご自宅まで購入品を当日中にお届け
- 5 掃除や電球交換、家具の組み立てなどの家事サポートサービスの提供、居住者の見守り支援
- 6 拠点の受付や一括配送のスタッフとして、多摩エリアに居住している方々を積極的に採用

まいの方々の生活をより豊かにするくらしのサポートサービスを開始しました。都市部における地域活性化の新たなモデルケース作りを目指して、ヤマトグループは、多摩市、独立行政法人都市再生機構とともに官民連携の取組みを進めていきます。

くらしのサポートサービスの仕組み



羽田 クロノゲート 見学会の ご案内



株主の皆様にご事業内容をより一層ご理解いただくため、開設以来大変ご好評いただいております。羽田クロノゲート見学コースに、株主優先枠を設けました。この機会にぜひご応募ください。

開催日時／2017年2～6月の土日祝日 ■ 14:00～15:30 ■ 10:00～11:30
 集合・解散場所／羽田クロノゲート受付棟 参加費／無料(往復交通費は各自のご負担とさせていただきます)

2017.2							2017.3							2017.4							2017.5							2017.6							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4				1	2	3	4							1			1	2	3	4	5	6					1	2	3
5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	
12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	
19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	
26	27	28					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30		
														30																					

応募要項

募集期間：2016年12月4日(日)～2016年12月30日(金)
 ※2016年12月30日消印有効

募集人数：各回6名(株主様1名につき同伴者1名まで)
 ※一般のお客様と合同のグループでの見学となります。

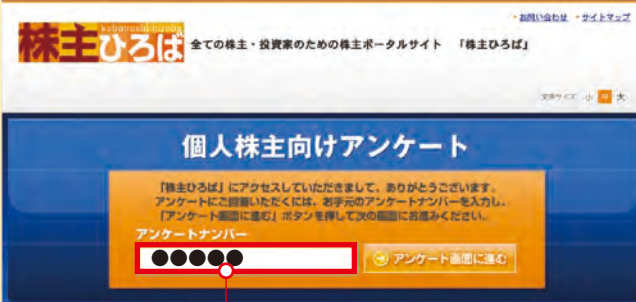
応募方法：.....

①WEBで応募

Yahoo!やGoogle®などの検索エンジンから「株主ひろば」を呼び出してください。

株主ひろば 検索 応募に際しては、「株主ひろば(個人株主向けアンケート)」システムを用いて実施させていただきます。

今後の株主通信の制作にあたって、参考とさせていただきますので、可能な限りアンケートにご協力ください。



応募方法：「株主ひろば」(<http://kabuhiro.jp>)画面中央の入力ボックスに、(●●●●●●)を入力して応募画面にお進みください。

このシステムは、株式会社アイ・アール ジャパンが運営しています。

☎お電話によるお問い合わせ先

ヤマトホールディングス窓口
 (※個人株主様羽田クロノゲート見学会窓口までとお申しつけください)
03-3541-4141 (お電話による申込みは受け付けておりません)
 平日9時～17時(12月29日～1月3日を除く)

●アクセス

羽田クロノゲートは羽田空港に隣接しております。
 ・京浜急行空港線「穴守稲荷駅」より徒歩約5分
 ・京浜急行空港線「天空橋駅」より徒歩約10分
 ・東京モノレール「天空橋駅」より徒歩約10分
 ※電車等の公共交通機関のご利用をお願いいたします。

見学コースはWEBをご覧ください

<http://www.yamato-hd.co.jp/hnd-chronogate/visitortour.html>

注意事項

- ・お申込みは一人様1回限りさせていただきます。WEBとハガキの両方で申込みがあった場合は、WEBの申込みを優先させていただきます。
- ・見学コース内でのカメラ、携帯電話などによる写真撮影、ビデオ撮影、録音はできません。
- ・見学時間は90分間です。見学中に休憩時間は設けておりません。
- ・貸出用車椅子、ベビーカーをご用意しております。貸出を希望される場合は、お申し出ください。
- ・一般のお客様と合同の1グループでの見学となります。
- ・天候・当施設の都合等により、やむを得ず見学を中止、または内容を変更する場合があります。
- ・小学生以下のお子様には保護者の方がご同伴ください。
- ・当選した権利を他人に譲渡することはできませんのでご了承ください。
- ・今回ご応募いただきました株主様の個人情報は見学会の実施以外での目的では使用いたしません。

②ハガキで応募

郵便ハガキをご用意いただき、必要事項①お名前②ふりがな③郵便番号④ご住所⑤年齢⑥ご連絡先電話番号⑦参加ご希望日⑧同伴者の有無)をご記入の上、送付をお願いいたします。

ハガキ送付先：〒100-6026

東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング26階
 ヤマトホールディングス(株) 羽田クロノゲート見学会

当選した株主様へのご連絡は、2017年1月中旬の発送をもって代えさせていただきます。

音楽宅急便

「クロネコファミリーコンサート」

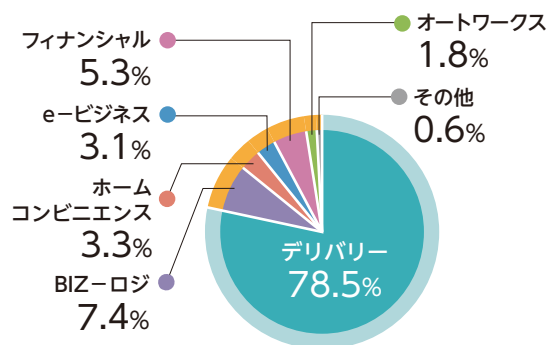
羽田クロノゲート見学会と音楽宅急便へのご招待は交互に実施しています。
 音楽宅急便は、次回の「株主の皆様へ(2017年7月上旬発送予定)」にてご案内予定です。

主要事業フォーメーション別 概況・収益構成

ヤマトグループは、基盤となるデリバリー事業に、BIZ-ロジ事業、ホームコンビニエンス事業、e-ビジネス事業、フィナンシャル事業、オートワークス事業のノンデリバリー事業を融合させ、「バリュー・ネットワーキング」構想の実現に向けた取組みを加速させています。

株主様アンケートでも多数ご意見をいただいた事業フォーメーションについて、今回は、フィナンシャル事業、オートワークス事業についてご紹介します。

(2016年4月1日～2016年9月30日)

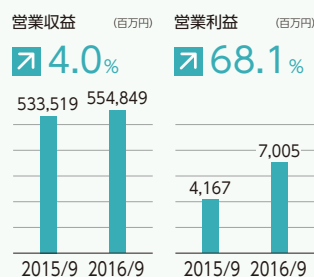


デリバリー事業

デリバリー事業



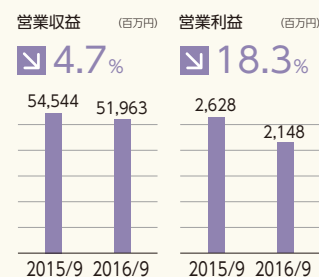
宅急便・クロネコDM便
などの小口貨物輸送サービス



BIZ-ロジ事業



ロジスティクス事業などの
BtoBを対象とする
企業間物流サービス



Spotlight



フィナンシャル事業

ヤマトフィナンシャル株式会社
代表取締役社長 兼 社長執行役員

栗栖 利蔵



E-コマースなどの通販市場において、決済・金融
関連のソリューションを提案していきます。

フィナンシャル事業は、通信販売企業向けに「宅急便コレクト」・「クロネコwebコレクト」といった決済サービスを提供しています。また、車両のリースなど、お客様のさまざまなニーズにお応えする決済・金融サービスを展開しています。今後は、「バリュー・ネットワーキング」構想の実現に向けて、グループ間の連携により営業力を強化するとともに、顧客別に最適なソリューションを提案しています。

WHAT'S NEW

✓ 経済成長の著しいマレーシアで、mPOSを利用した決済サービスを開始します。

インターネット普及率が東南アジアにおいてシンガポールに次ぐ第2位、モバイルの浸透率も高く、近年、著しい経済成長を遂げているマレーシアでは、ECを含む小売決済の

キャッシュレス化が進められています。この流れを汲み、ヤマトグループとマレーシアのフィンテック事業者Soft Space Sdn Bhd.は、2016年10月、mPOS*による安心・安全・便利な決済サービスの提供を開始しました。

*mPOS (Mobile Point Of Sales) とは、スマートフォンやタブレットと連携させて決済を行うソリューションのことです。

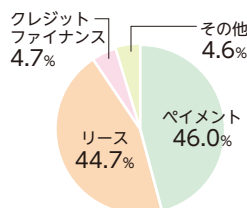


● 事業内容

- ・ペイメント
- ・クレジットファイナンス
- ・リース ・その他

● 営業収益構成比

(2016年4月1日～2016年9月30日)



オートワー



WHAT'S NEW

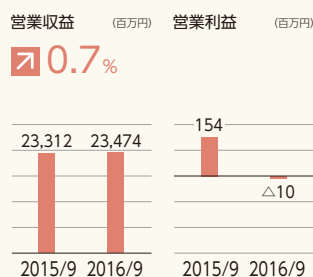
✓ 車両点検・整備工場「スーパーワークス」をさらに拡大。お客様の車両の稼働効率向上を、より強力に支援します。

お客様の業務時間外に車両を引き受け、24時間365日体制で車検や整備を完了させてお届けする「スーパーワークス」を全国展開しています。2015

ホームコンビニエンス事業



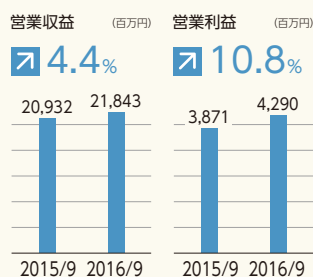
引越・生活サポート・流通サービスを中心とした地域密着型生活支援サービス



e-ビジネス事業



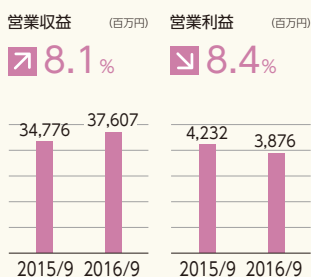
企業向けASPサービスや情報システム開発などの情報サービス



フィナンシャル事業



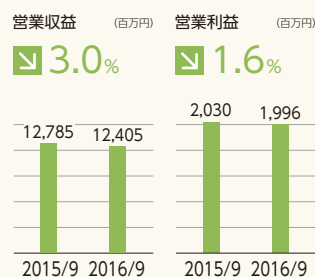
通信販売関連の決済サービスやリース等の金融サービス



オートワークス事業



車両整備を中心とした運送事業者向けのトータルサポートサービス



オートワークス事業

ヤマトオートワークス株式会社
代表取締役社長 兼 社長執行役員

江頭 哲也

車両の整備・保守を中心に運送事業者をトータルでサポートします。

オートワークス事業は、車両を確実に整備・保守してきた技術を活かし、運送事業者のお客様に対して、安全性のさらなる向上はもちろん、「車両整備における利便性の向上」「整備費用の削減」「24時間365日営業・お客様の稼働を止めないサービス」を展開しています。また、車両・施設・設備のメンテナンスを担当することで、グループの物流ネットワークを支えています。

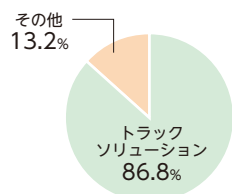


●事業内容

- ・トラックソリューション
- ・その他

●営業収益構成比

(2016年4月1日～2016年9月30日)



年9月には、兵庫県神戸市に「スーパーワークス神戸工場」を竣工しました。これにより、「スーパーワークス」を含む整備工場は、全国で71拠点に拡大しました。また、メカニックが専用トラックで定期訪問・整備を行う「リペアネットワーク」のサービスも展開しています。

Topics

宅急便サービスやクロスボーダー・ネットワークを拡大し、経済発展著しいASEAN各国の物流ニーズに対応。



ASEAN域内でのクロスボーダー物流の拡大を背景に、ヤマトグループは、クロスボーダー小口貨物の獲得を目指し、各国で展開する小口輸送ネットワークとそれらを結ぶ陸上幹線輸送ネットワークの構築を進めています。

小口輸送ネットワークの拡大に向けては、従来から宅急便サービスを展開しているシンガポール・上海・香港・マレーシアに加え、2016年8月、EC市場が拡大しているタイにおいて宅急便サービスを提供するための合併会社設立に合意しました。さらに、各国を結ぶ幹線輸送ネットワークの構築に向けて、同月、マレーシアを本拠地とするクロスボーダー陸上幹線輸送会社OTLグループとのM&Aに合意しました。このM&Aにより、シンガポールからマレーシア、タイ等を経由し中国までの約6,000kmを結ぶ陸上幹線輸送サービスを提供することが可能になります。

今後もASEAN各国の小口輸送ネットワークとロジスティクス機能の結合によるクロスボーダー・ネットワークの構築に取り組み、高品質で付加価値の高い物流サービスの拡大を図っていきます。



連結財務諸表(要旨)

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2015年4月1日～ 2015年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2016年4月1日～ 2016年9月30日
営業収益 Point ①	683,785	706,689
営業原価	645,448	662,442
営業総利益	38,337	44,247
販売費及び一般管理費	20,336	23,303
営業利益 Point ②	18,000	20,943
営業外収益	1,163	1,113
営業外費用	537	1,140
経常利益	18,627	20,916
特別利益	54	228
特別損失	89	950
税金等調整前四半期純利益	18,592	20,193
法人税等	8,707	8,514
四半期純利益	9,884	11,679
非支配株主に帰属する四半期純利益	125	124
親会社株主に帰属する四半期純利益 Point ③	9,759	11,554

ポイント解説

Point ①

デリバリー事業においては宅急便の取扱数量が通販市場の拡大や「宅急便コンパクト」「ネコポス」のご利用拡大により増加、ノンデリバリー事業においては既存サービスが概ね好調に推移したことにより、営業収益は前年同期に比べ3.3%増加し、7,066億89百万円となりました。

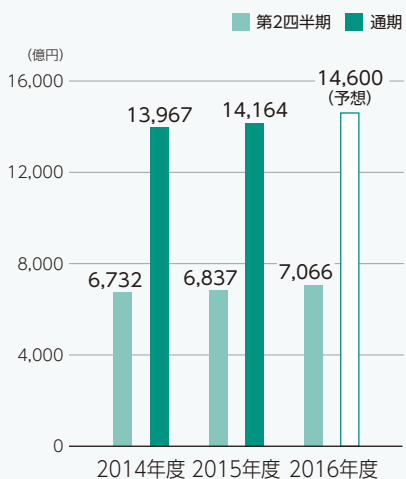
Point ②

営業利益は前年同期に比べ16.4%増加し、209億43百万円となりました。

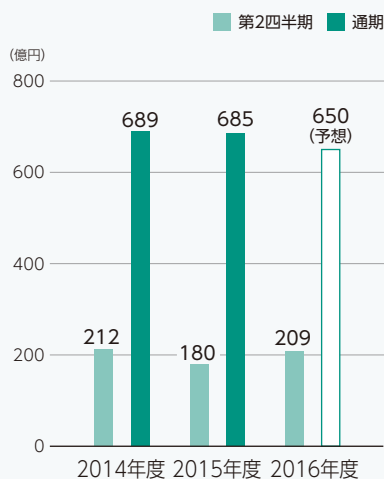
Point ③

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ18.4%増加し、115億54百万円となりました。

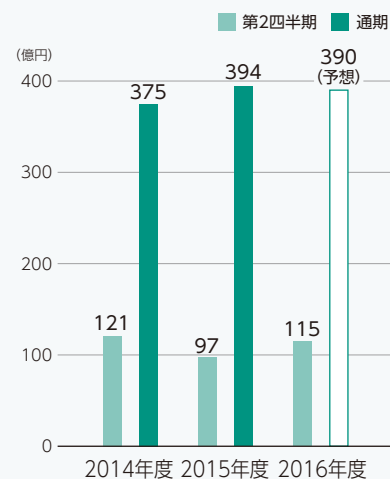
営業収益



営業利益



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2016年3月31日	当第2四半期 連結会計期間 2016年9月30日
[資産の部]		
流動資産	583,982	559,393
固定資産	505,454	521,584
有形固定資産	405,641	407,025
無形固定資産	20,960	22,526
投資その他の資産	78,851	92,032
資産合計 Point ①	1,089,436	1,080,977
[負債の部]		
流動負債	348,097	345,893
固定負債	197,483	188,472
負債合計 Point ②	545,581	534,365
[純資産の部]		
株主資本	537,348	542,924
その他の包括利益累計額	473	△2,387
非支配株主持分	6,034	6,074
純資産合計 Point ③	543,855	546,611
負債純資産合計	1,089,436	1,080,977

ポイント解説

Point ①

前期下期と今期上期の繁閑の差により受取手形及び売掛金が52億27百万円減少したことなどに伴い、総資産は前連結会計年度末に比べて84億58百万円減少し、1兆809億77百万円となりました。

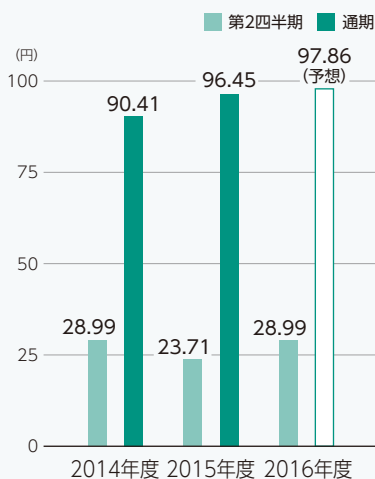
Point ②

支払手形及び買掛金が89億45百万円、法人税を納付したことにより未払法人税等が66億98百万円減少したことなどにより、負債は前連結会計年度末に比べ112億15百万円減少し、5,343億65百万円となりました。

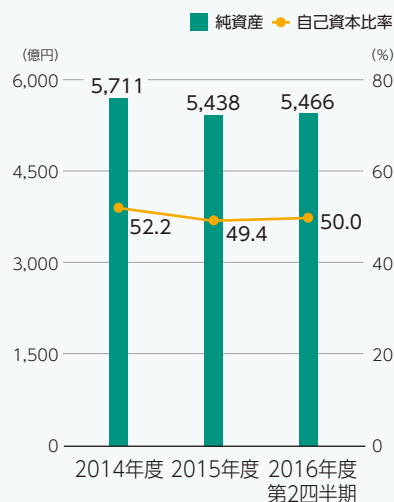
Point ③

親会社に帰属する四半期純利益を計上したことに加え、剰余金の配当を実施したことなどにより、純資産は前連結会計年度末に比べ27億56百万円増加し、5,466億11百万円となりました。

1株当たり四半期(当期)純利益



純資産/自己資本比率



中間配当の支払につきまして

- ・中間配当金
1株につき 金13円
- ・効力発生日
ならびに支払開始日
2016年12月9日(金)

中間配当金お支払い関係書類は12月8日(木)に発送予定です。

連結財務諸表(要旨)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2015年4月1日～ 2015年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2016年4月1日～ 2016年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー Point 1	△14,330	25,611
投資活動によるキャッシュ・フロー Point 2	△23,085	△38,699
財務活動によるキャッシュ・フロー Point 3	△11,862	△9,572
現金及び現金同等物に係る換算差額	△110	△2,834
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△49,388	△25,495
現金及び現金同等物の期首残高	247,051	249,261
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	213	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	197,875	223,766

より詳細な連結財務諸表につきましては、
ホームページ(<http://www.yamato-hd.co.jp/>)をご覧ください。

ヤマトホールディングス 財務

ポイント解説

Point 1

未払消費税等の増減額、仕入債務の増減額が増加したことなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて収入が399億41百万円増加し、256億11百万円の収入となりました。

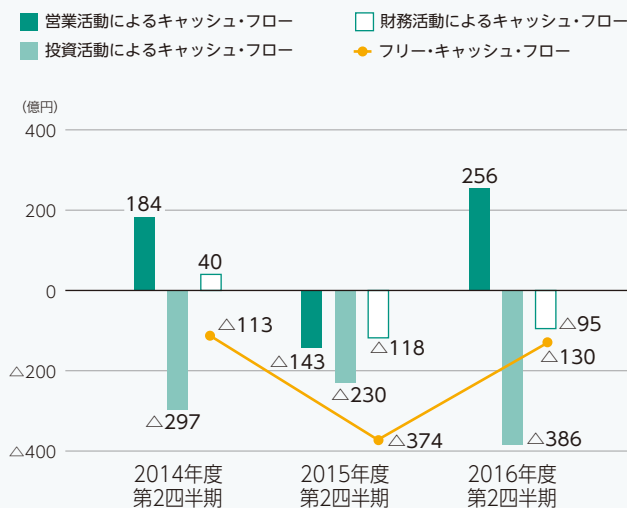
Point 2

成長投資に伴う支出が増加したことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて支出が156億13百万円増加し、386億99百万円の支出となりました。

Point 3

自己株式の取得による支出が減少した一方で、借入金の収支による支出が増加したことなどにより、財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて支出が22億89百万円減少し、95億72百万円の支出となりました。

キャッシュ・フロー



用語解説

キャッシュ・フローについて

○営業活動によるキャッシュ・フロー

企業が営業活動から獲得したキャッシュから仕入れや事業活動に必要な諸費用を差し引いて、本来の営業活動から得られた金額を示します。

○投資活動によるキャッシュ・フロー

企業が営業活動を維持拡大するための設備投資や資産の売却、資金の貸し付けや回収など、会社の将来を考えた諸活動にどの程度の額を回したのかを示します。

○財務活動によるキャッシュ・フロー

営業活動および投資活動を維持するためにどの程度の資金調達をしたのか、もしくは余剰資金がある場合はそのうちの程度の額を借入金等の返済に回したのかを示します。

株式の状況 / 会社概要 (2016年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	1,787,541,000株
発行済株式の総数	411,339,992株
株 主 数	34,000名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	36,434	8.9
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505223	25,988	6.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	19,615	4.8
ヤマトグループ社員持株会	18,343	4.5
日本生命保険相互会社	14,770	3.6
株式会社みずほ銀行	14,647	3.6
明治安田生命保険相互会社	14,314	3.5
ヤマトグループ取引先持株会	8,783	2.1
ステートストリートバンクウェストクライアントトリーティ-505234	6,040	1.5
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	6,033	1.5

※上記より自己株式は除外しています。

会社概要

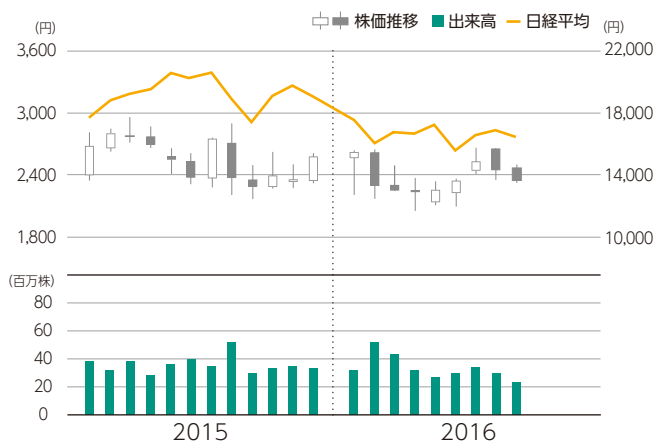
商 号	ヤマトホールディングス株式会社
本店所在地	〒104-8125 東京都中央区銀座二丁目16番10号 TEL 03(3541)4141(代表)
創 業	1919(大正8)年11月29日
設 立	1929(昭和4)年4月9日
資 本 金	127,234,791,077円

●ヤマトグループホームページのご案内●

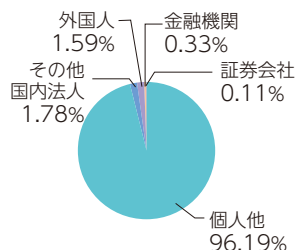
ヤマトグループに関するさまざまな情報がご覧いただけます。

<http://www.yamato-hd.co.jp/>

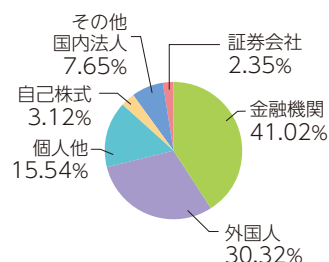
株価・売買高の推移(東京証券取引所)



株主数比率



株式数比率



株主メモ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月に開催
期 末 配 当 基 準 日	3月31日
中 間 配 当 基 準 日	中間配当を行う場合には、9月30日
株 主 名 簿 管 理 人	みずほ信託銀行株式会社 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事 務 取 扱 所 (手続お申出先)	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324
公 告 方 法	電子公告 (http://www.yamato-hd.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合 は、日本経済新聞に掲載して行います。
銘 柄 コ ー ド	9064

ヤマトホールディングス株式会社

〒104-8125 東京都中央区銀座二丁目16番10号

TEL 03(3541)4141(代表)

<http://www.yamato-hd.co.jp/>

